

原ゆうじ市政報告 VOL.93

松戸市に関すること、困りごとのご相談はお気軽に！！

TEL 070-5540-9565 メールアドレス yuji.hara88@gmail.com

ブログも好評配信中！ 公式 HP:hara88.mobi 発行元:松戸市上本郷905



(原ゆうじのプロフィール)
1965年松戸生まれ 上本郷小、松戸六中、立教高校、立教大学理学部化学科卒。長瀬産業(商社)勤務を経て家業のベーカリー店を継ぐ H22年市議初当選、現在、市議会議員4期目

松戸市議会議員、原ゆうじ市政レポート:税金の無駄遣いは許さない! 6年春号

市役所移転の新案提案される!

令和6年度予算で、再び候補地取得予算が計上

現在、松戸市最大の問題である市役所の建て替え問題ですが、昨年5月に移転候補地購入議案が否決された後、市からの提案はありませんでした。しかし突如、1月31日に緊急招集された委員会の場で、市役所移転の新案について、令和6年度の予算の中で、再び移転候補地(否決された場所と同じ)購入の予算を計上したいとの説明がありました。なぜ、否決されてもまた移転案なのか? 詳しくレポートします。

耐震不足の新館・本館! 現在の市役所は ↓(表1)庁舎の面積と耐震性 (IS値=耐震性の指標)

敷地内に建物4棟(土地建物とも市所有)あります。表1のように本館と新館は建物耐震性に問題があり、建て替えが急務となっています。

又、敷地外に民間から借り上げの事務所が3つ、市所有の事務所が2つあり、合計で約3万㎡の延床面積ですが、新たな新市役所は延べ床面積を約37,000㎡で市は想定しています。

	延べ床面積	IS値	耐震性	建築年
本館	3,683㎡	0.3	✖	S34
新館	11,894㎡	0.3	✖	S45
議会棟	3,688㎡	0.71	○	S53
別館	3,759㎡	新耐震	○	S58

5月に移転案は否決! その経緯は? **ポイント** 現市役所は約3万㎡→新市役所は37,000㎡へ

市は右図①を約30.2億円で購入、そこに新市役所37,000㎡を建設し移転させる議案を市議会に提案しましたが、否決されました。その理由は、

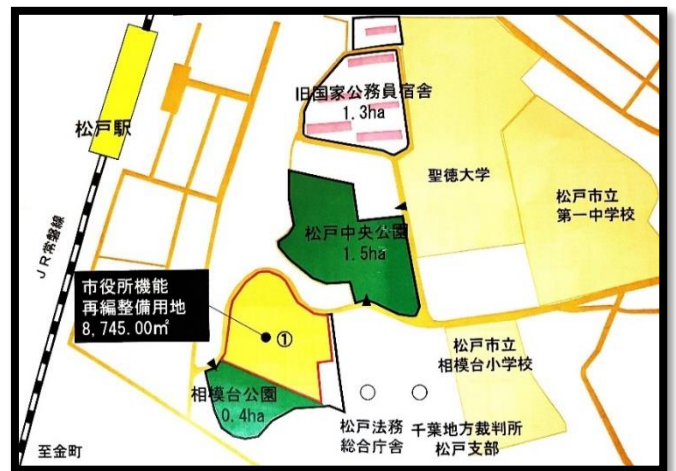
①移転候補地は、土地が狭く、37,000㎡の建物と立体駐車場が建てられるのか?

(移転候補地:8,745㎡、現在地:15,158㎡)

②市役所の住所移転には、議員の3分の2以上の同意が必要な特別議案可決が必要だが、その手続きを経ていないこと。

③候補地へのアクセス(車&徒歩)に課題があることなどが挙げられました。さて、対して市の新案は、...

↓移転候補地略図



市役所移転新案の内容は本館・新館部分を移転、後未定!

市が示した整備案の考え方:耐震性が確保されていない本館、新館の対応を優先整備(第1ステップ) 物価高騰(建設コスト約3割アップ)などを踏まえ、段階的に整備する。

(第1ステップ) →本館・新館のみ移転

- ① 移転候補地(8,745㎡)を購入、約2万㎡の新庁舎を建設、現本館・新館部分のスペースを確保。
- ② 移転後、現本館と新館は使用終了。→解体については未定
- ③ 現庁舎の内、耐震性がある議会棟と別館は引き続きそのまま使用。

(第2ステップ) →本館・新館以外の整備

- ① 本館、新館以外の整備方針については、他の公共施設の整備方針と併せ検討。→時期等も未定

運命の3月議会！否決 or 可決？ 移転候補地購入予算！約38億円

移転候補地購入予算約38億円を含む来年度松戸市予算案！が3月議会で採決されます。仮に可決となれば、市役所移転は決まりなのか？今回は、土地の購入のみで、建築予算などは今後の審議ですので「移転が決まる」というわけではありませんが、前進することは間違いありません。

移転新案に問題はないのか？

(↓現市役所の配置図)

問題点①移転新案は超分散案！

8年後(第1ステップ完了後)後、市役所は移転候補地に2万㎡の新庁舎が建ちますが、これでは足りず(構想では必要面積37,000㎡)右図の現市役所の各施設も引き続き使います。なので、**移転後は現市役所周辺と、移転候補地と市役所は分かれる**ことになります。

問題点②移転後も家賃の支払いが続く！

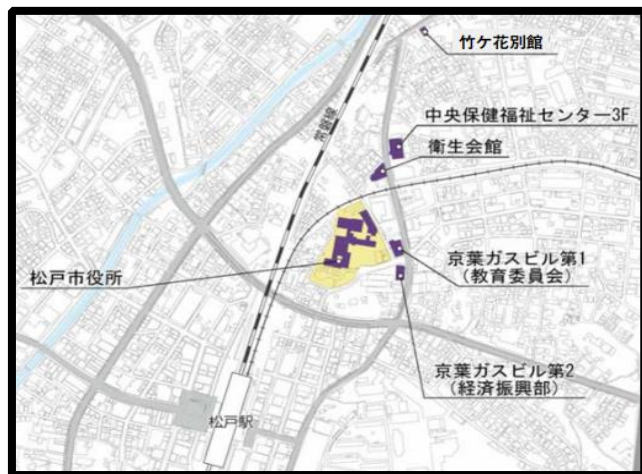
右図の第1、第2京葉ガスビルと竹ヶ花別館は民間から借りていて年約1.8億円の賃料を支払っています。候補地に新庁舎が建ってもこの3つの建物は借りるので賃料の支払いは続きます。もったいない！

問題点③第2ステップ以降は未定＝費用も未定

今回、市は**総費用の見込みを示していません**。なので、現地建て替えとの比較はもちろんのこと、最終的にいくらかかるのかわかりません。費用がいくらかかるのかわからないのに移転候補地購入をしていいのでしょうか？

問題点④候補地へのアクセスの問題

車でのアクセスの場合、6号線上り線に右折レーン設置が必要となり伴う費用の増大、渋滞が懸念されます。松戸駅からの徒歩でも、急坂への対応が必要となります。



↓移転後も使用する現庁舎敷地外の施設

施設名	面積 (㎡)	所有形態
京葉ガスF松戸ビル	1,733	民間借上げ
京葉ガスF松戸第二ビル	1,094	民間借上げ
竹ヶ花別館	1,045	民間借上げ
中央保健福祉センター	881	市保有
衛生会館	1,841	市保有
計	6,594	

能登半島地震発生！松戸市が今、すべき事は？

元旦に能登半島地震が発生、大きな被害が起きました。地震はいつ起こるかわかりません！今回の移転新案は、耐震性のない本館・新館をまず、候補地に移すので、地震に対して最良の策と市は答えています。本当なののでしょうか？市は、候補地に約2万㎡の新庁舎を建て、そこに本館新館の人達を移すのは、最低でも8年後としています。ここが今回の移転新案の一番の問題点です。**松戸市は8年間も耐震性のない本館・新館に人を居させる考え**ということになります。もし、8年間で大地震が起き、命が奪われる事態となったとき、だれが責任を取るのでしょうか？

原ゆうじの考え！今すぐにでも仮庁舎へ移すべき

原ゆうじの仮庁舎の質問に対し、市は「松戸駅からの徒歩圏での仮庁舎を探したが見つからなかった」と答え、ならば松戸駅周辺にこだわらず探すべきでは？との問いにも「市役所は松戸駅周辺が望ましい」と、大地震が起きた後とは思えない答えをしています。信じられません！

視察に行った世田谷区では、現区役所から20分も離れた廃校になった都立高校を仮庁舎にして現地で建て替えを行っています。仮庁舎への移転が可能となれば現地建て替えが有利となるから、市がそんな考えとしたら言語道断！許せません！移転か現地かにかかわらずまず仮庁舎へ！

原ゆうじは、人命にかかわる問題として、市役所建て替え問題に全力で取り組みます！